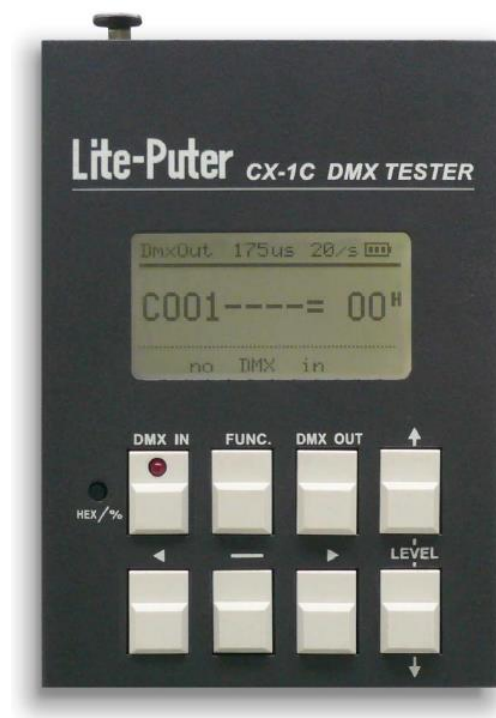


CX-1C

DMX Tester

取扱説明書

V1.00



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

目次

はじめに	3
基本仕様	3
製品仕様	3
安全上の注意	4
各部の名称	5
操作メニュー	6
DMX OUT	6
Auto Fade	8
オート・フェード送信周波数設定	9
オート・フェード・モードのときの DMX IN 信号	9
DMX OUT2	10
ケーブル・テストモード	12
コードモード	13
LCD ディスプレイ・バックライト	14
バッテリー残量	15
Din (データーイン・プロトコル・モニター)	15
D Out (データーアウト・プロトコル・モニター)	16

はじめに

この度は LITEPUTER（ライトピューター） / CX1C をご購入いただき、誠にありがとうございます。
CX1C は XLR5 ピンの入力端子を持つ DMX テスターです。本製品の性能を最大限に発揮させ、
末永くお使いいただくため、ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。

基本仕様

- DMX IN/OUT テスト向け DMX 同期信号出力搭載
- リチウムイオン電池搭載。充電時間：2時間、連続使用時間：6時間
- ケーブル配線チェック機能装備
- プロトコル開発機能装備

製品仕様

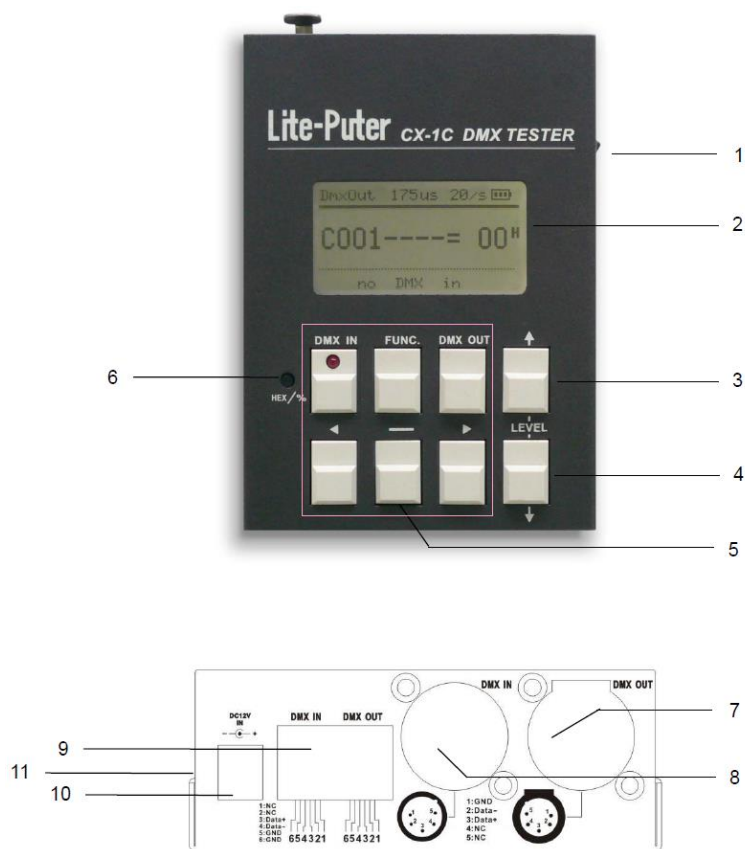
- 電源: DC12V/1A
- DMX IN/OUT: DMX512
- 最大 DMX 出力チャンネル: 512 チャンネル
- DMX コネクター: XLR5 ピンx2、モジュラー端子 (RJ11)x2
- 寸法: 幅 97mmx高さ 135mmx奥行き 38mm

安全上の注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。本体に異常がある場合は本製品の使用を中止し、販売店にご相談ください。
2. 本体は必ず安全で、安定した場所に設置してください。電源ケーブルは踏まれたり挟まれたりすることのない場所に設置してください。
3. 本体への接続が全て完了してから本体の電源を入れてください。本体を他の機材と接続する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外して行ってください。また、アース端子は必ず接続してください。
4. 感電防止のため、使用中は部品に触れないでください。本体カバーを外した状態で本製品を使用しないでください。
5. 本製品は屋内専用です。本製品を屋外で使用した場合は保証対象外となります。
6. 通気性の良い場所に設置し、布等を被せないよう、また、周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようご注意ください。使用中は本体が熱を持つ場合があります。近くには何も置かないでください。
7. 本体に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようご注意ください。感電や火災の原因になります。
8. 長時間使用しない場合はバッテリーを外してください。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となる場合があります。

各部の名称



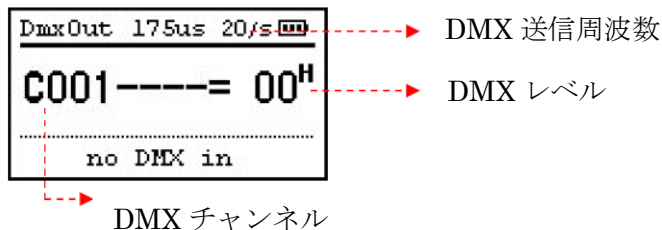
1	電源スイッチ	6	16 進/10 進/%切替えボタン
2	LCD ディスプレイ	7	DMX OUT: XLR5 ピン
3	レベルアップキー	8	DMX IN: XLR5 ピン
4	レベルダウンキー	9	DMX IN: モジュラー端子 DMX OUT: モジュラー端子
5	ファンクションキー	10	電源コネクタ: DC12V/1A
11	DMX 同期信号出力		

操作メニュー

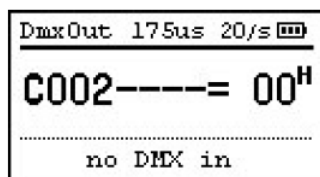
DMX OUT

1 チャンネル、または連結チャンネル全てに同じ信号レベルを設定したとき、実際の信号レベルをチェックします。

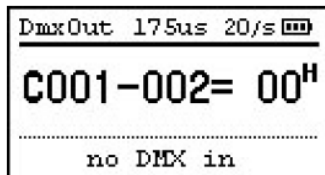
1. 「DMX OUT」ボタンを押して DMX OUT モニター画面に入ります。



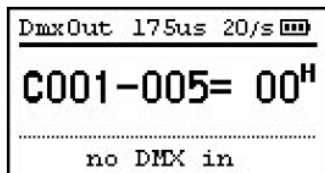
2. 【▶】または【◀】 ボタンを使用してチャンネルを選択します。ここではチャンネル 2 を選択します。



3. 連結チャンネルを設定するとき、開始チャンネルを選択し、【-】 ボタンを押します。

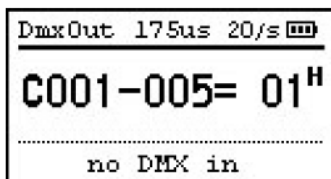


チャンネル 1～5 まで連結した DMX チャンネルをモニターしたいときは【▶】 を押して 005 を選択します。

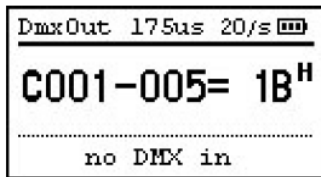


【▶】または【◀】 ボタンを長押しすると、連続的に数値を増減することができます。

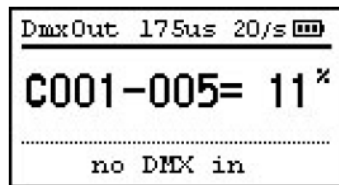
4. 【▲】または【▼】 ボタンを使用して DMX レベルを調整します。



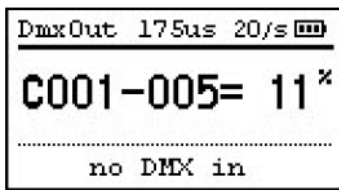
例えば C001～C005 のレベルを1B(16進 Hex)にするには【▶】を押します。



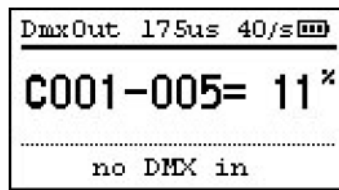
5. DMX レベルは3つのモード Hex(16進)、Decimal(10進)、Percent(%)により表示できます。



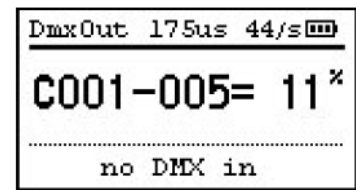
6. 3種類の DMX 送信周波数が使用可能です。



20/秒

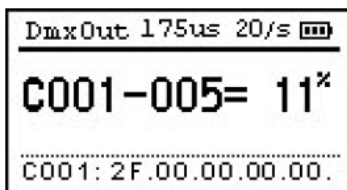


40/秒



44/秒

7. DMX OUT モードのとき、DMX IN ポートに DMX 信号があると、LCD ディスプレイに値が表示されます。



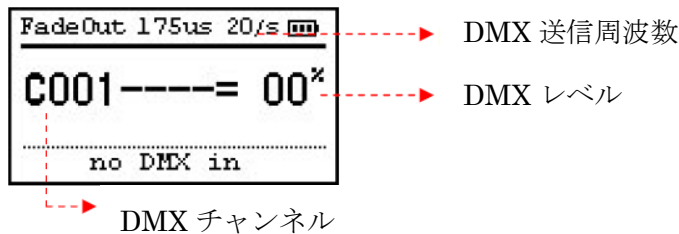
チャンネル1の入力信号レベルは 2FH、チャンネル 2～5 は 00H を表しています。
この機能を使用してケーブルのチェックをすることができます。入力レベルと出力レベルを比較して同じなら、ケーブルは正常であることが分かります。

※DMX IN の信号レベルと DMX OUT の信号レベルは別の値です。

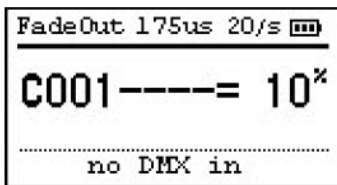
Auto Fade

1チャンネル、または連結チャンネルがオート・フェードに設定されているとき。

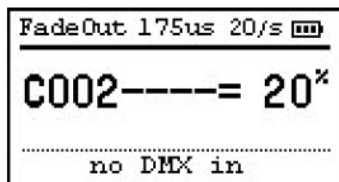
1. DMX OUT モードのとき、「DMX OUT」ボタンを押して Auto Fade 機能画面に入ります。



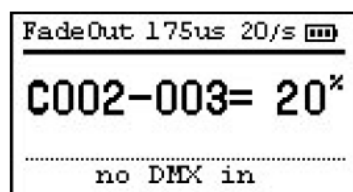
2. チャンネル1の DMX レベルが自動的に 0%から 100%に上昇し 0%に戻るのを確認することができます。



3. 【▲】または【▼】ボタンを使用してオート・フェード・スピードを設定できます。
4. 【▶】または【◀】ボタンを使用してチャンネルを選択します。ここでは開始チャンネル 2 を選択します。



5. 連結チャンネルを設定するとき、開始チャンネルを選択し、【-】ボタンを押します。

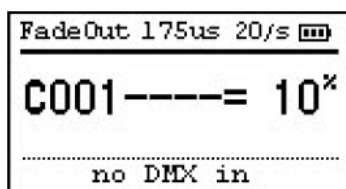


オートフェードは次のように働きます。C002: 0%→100%→0%→C003: 0%→100%→0%
→C002: 0%→100%→0%

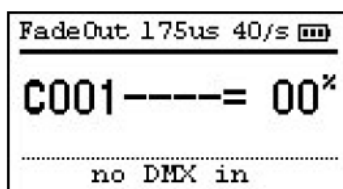
6. 【▶】または【◀】ボタンを使用してオートフェードの終了チャンネルを選択します。

オート・フェード送信周波数設定

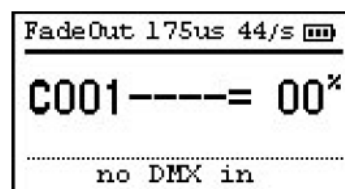
3種類のオート・フェード送信周波数が使用可能です。



20/秒



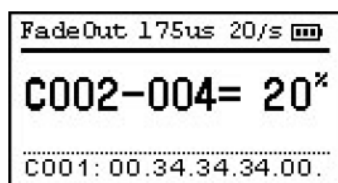
40/秒



44/秒

オート・フェード・モードのときの DMX IN 信号

オート・フェード・モードのとき、DMX 入力信号がある場合、画面に入力信号の値が表示されます。



上の画面にはチャンネル 2 - 4 の値 34H (20%) が表示されています。

※DMX IN の信号レベルと DMX OUT の信号レベルは別の値です。

DMX OUT2

1. オート・フェード・モードのとき、「DMX OUT」ボタンを押すと DMX OUT2 機能を実行することができます。

DmxOut2	20/s	%	
C001:	00.00	00.00	00.00
C006:	00.00	00.00	00.00
C011:	00.00	00.00	00.00
C016:	00.00	00.00	00.00
C021:	00.00	00.00	00.00
C026:	00.00	00.00	00.00

DMX 送信周波数

DMX レベル

DMX チャンネル

2. 【▲】または【▼】ボタンを使用して DMX レベルを調整します。

DmxOut2	20/s	%	
C001:	00.00	00.00	00.00
C006:	00.00	00.00	00.00
C011:	00.00	00.00	00.00
C016:	00.00	00.00	00.00
C021:	00.00	00.00	00.00
C026:	00.00	00.00	00.00

チャンネル 001 の DMX レベルが 16%のとき、次のように表示されます。

DmxOut2	20/s	%	
C001:	16.00	00.00	00.00
C006:	00.00	00.00	00.00
C011:	00.00	00.00	00.00
C016:	00.00	00.00	00.00
C021:	00.00	00.00	00.00
C026:	00.00	00.00	00.00

【▲】と【▼】ボタンを同時に押すと DMX レベルを 50%、100%、0%に素早く設定できます。

3. 【▶】または【◀】ボタンを使用して別のチャンネルを選択します。チャンネル 2 を選択すると次のように表示されます。

DmxOut2	20/s	%	
C001:	79.00	00.00	00.00
C006:	00.00	00.00	00.00
C011:	00.00	00.00	00.00
C016:	00.00	00.00	00.00
C021:	00.00	00.00	00.00
C026:	00.00	00.00	00.00

DMX IN

1. 「DMX IN」ボタンを押して DMX IN 機能に入ります。

DMxIn	00H-20/s	%	00
C001:	00.00.00.00.00		
C006:	00.00.00.00.00		
C011:	00.00.00.00.00		
C016:	00.00.00.00.00		
C021:	00.00.00.00.00		
C026:	00.00.00.00.00		

スタートコード: 受信した DMX IN スタートコードレベル

DMX IN 受信周波数: 1 秒間に受信した DMX IN 信号の数

99 回受信するまでは受信カウント数を表示

%/H/D: パーセント/16 進/10 進

C001: DMX IN スタートチャンネル

※DMX IN データーを受信すると「DMX IN」ボタンの LED が点灯します。

2. **【▲】 【▼】 【▶】 【◀】** ボタンを使用してスタートチャンネルを選択します。

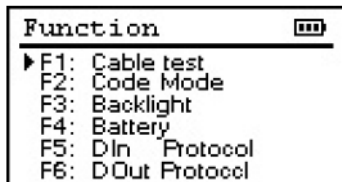
DMxIn	00H-20/s	%	00
C006:	00.12.00.30.00		
C011:	03.00.00.47.00		
C016:	00.00.00.00.00		
C021:	00.00.00.00.00		
C026:	00.00.00.00.00		
C031:	00.00.00.00.00		

DMX IN レベルをクリアする。

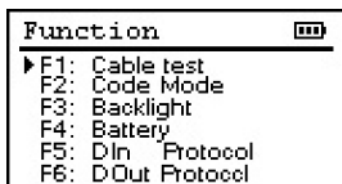
DMX IN モードのとき、DMX IN レベルをクリアするには DMX IN 端子に接続されている XLR ケーブルを抜いて、「DMX IN」ボタンを押します。

ケーブル・テストモード

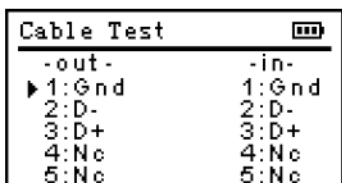
1. 「FUNC」ボタンを押してメニューに入ります。



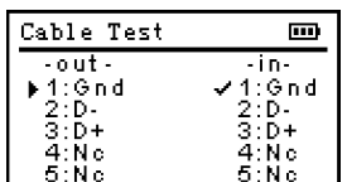
2. 【▲】【▼】ボタンを使用して F1 を選択します。



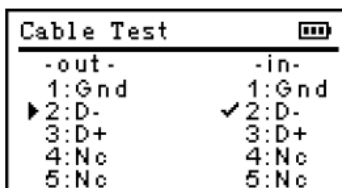
3. 「FUNC」ボタンを押してケーブルテストモードに入ります。



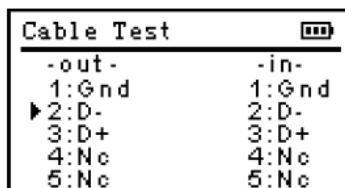
4. テストする灯体に接続されている DMX ケーブル(オス-メス)をそれぞれ、本機の DMX OUT と DMX IN 端子に接続します。



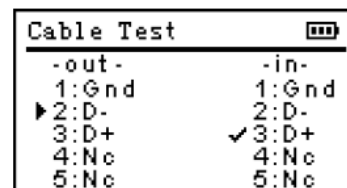
5. 【▼】ボタンを押して次のピンをテストします。



D-: 正常

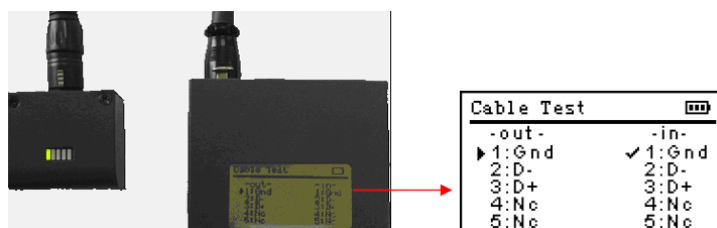


D-: 未接続



D+: 配線ミス

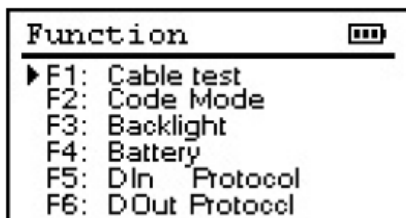
6. もし、ケーブルを接続する灯体が無い場合、テストモジュールを使用します。



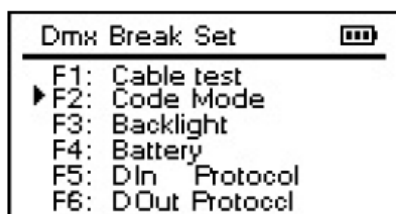
7. 1: GND を選択して、最初の LED が点灯しているとき、接続は正常です。同様に D+と D-をテストできます。

コードモード

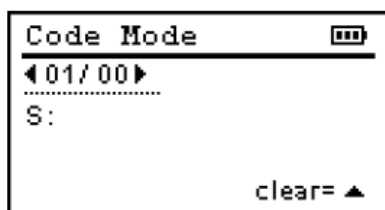
1. 「FUNC」ボタンを押してメニューに入ります。



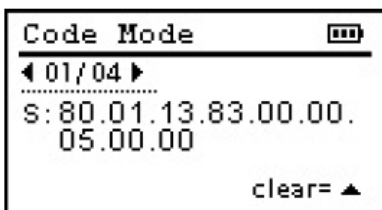
2. 【▲】【▼】ボタンを使用して F2 を選択します。



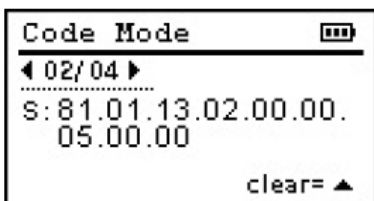
3. 「FUNC」ボタンを押すとコードモードに入ります。



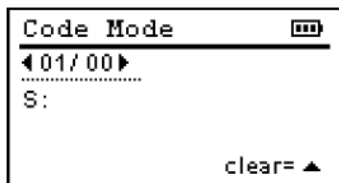
4. EDX-610 を CX-1C に接続し、シーン「1」ボタンを押すと、EDX-610 が 2 つのコードを送ります。シーン「OFF」ボタンを押すと CX-1C の画面に次のデータが表示されます。



5. 【▶】【◀】ボタンを使用してコードを選択します。

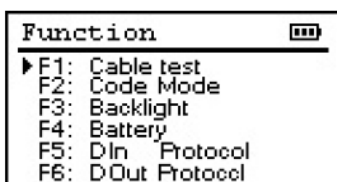


6. 【▲】ボタンを押してデーターをクリアーします。

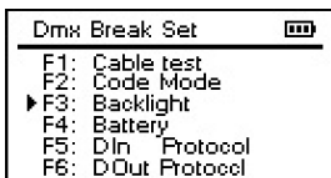


LCD ディスプレイ・バックライト

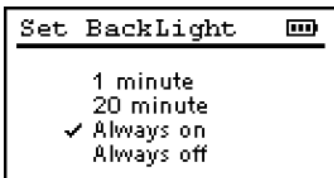
1. 「FUNC」ボタンを押してメニューに入ります。



2. 【▲】【▼】ボタンを使用して F3 を選択します。



3. 「FUNC」ボタンをもう一度押してバックライトの設定をします。



1 minute: 1 分以上操作がないとバックライトが自動的にオフ

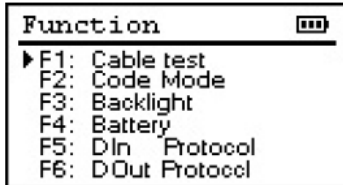
20 minute: 20 分以上操作がないとバックライトが自動的にオフ

Always on: バックライトは常時オン

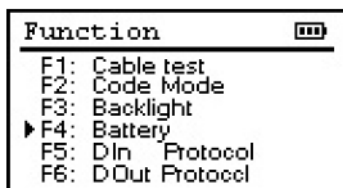
Always off: バックライトは常時オフ

バッテリー残量

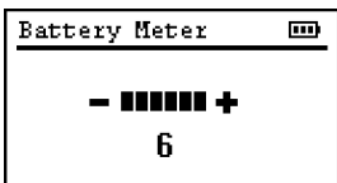
1. 「FUNC」ボタンを押してメニューに入ります。



2. 【▲】【▼】ボタンを使用して F4 を選択します。

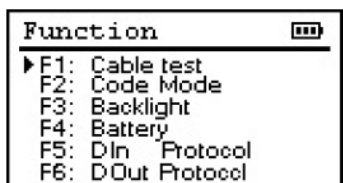


3. 「FUNC」ボタンをもう一度押してバッテリー残量を表示します。

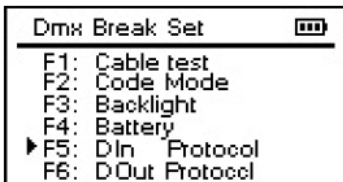


Din(データイン・プロトコル・モニター)

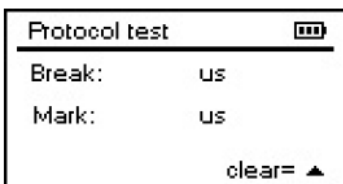
1. 「FUNC」ボタンを押してメニューに入ります。



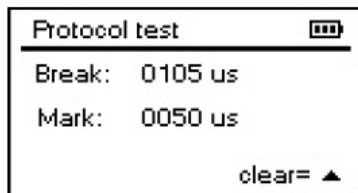
2. 【▲】【▼】ボタンを使用して F5 を選択します。



3. 「FUNC」ボタンをもう一度押して Din(データイン・プロトコル・モニター)を表示します。

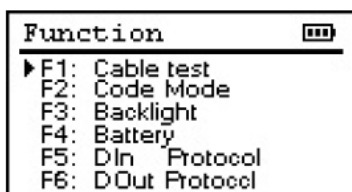


4. DMX IN 信号があると、画面にデーターが表示されます。

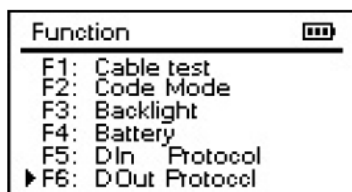


D Out(データーアウト・プロトコル・モニター)

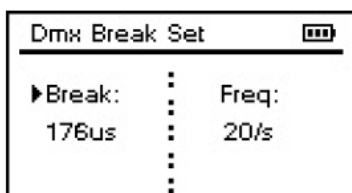
1. 「FUNC」ボタンを押してメニューに入ります。



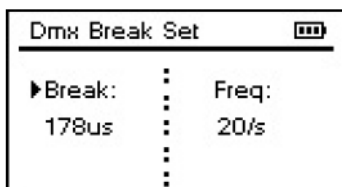
2. 【▲】【▼】ボタンを使用して F6 を選択します。



3. 「FUNC」ボタンをもう一度押して Din(データーアウト・プロトコル・モニター)を表示します。

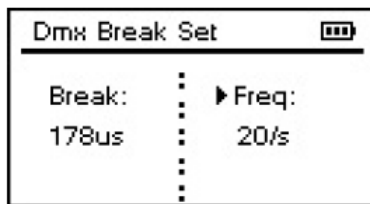


4. 【▲】【▼】ボタンを使用してブレイクタイムを調整します。

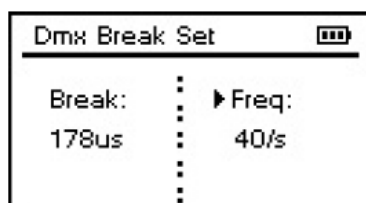


【▲】ボタンを使用してブレイクタイムを 300 μ秒まで増加、【▼】ボタンを使用して 60 μ秒まで減少できます。

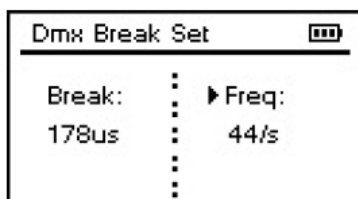
5. 【▶】ボタンを使用して Freq を選択します。



6. 【▲】【▼】ボタンを使用して DMX 送信周波数を調整します。
20/s、40/s、44/s の中から選択できます。



DMX 送信周波数: 40/s



DMX 送信周波数: 44/s